

建築・設備概要

建築概要

区分	本館	ロダン館
所在地	静岡市谷田53番2号	同左
敷地	県文化センター内(約120,000㎡)	同左
構造・規模	鉄骨鉄筋コンクリート造、地上2階建 建築面積：6,624.07㎡ 延床面積：9,238.51㎡	鉄筋コンクリート造(一部鉄骨造)2階建 建築面積：2,391.25㎡ 延床面積：3,024.36㎡
仕上	外壁：湿式磁器炉器質無釉タイル貼 屋根：緑青銅板大和葺アスファルト断熱防水 床：花崗岩高熱粗面仕上、タイルカーペット 長尺塩化ビニールシート貼 壁：安山岩「由良赤石」半磨仕上	外壁：花崗岩ジェットバーナー仕上、タイル貼、 タイル打込PC板、吹付タイル 屋根：カラーステンレス葺 トップライト(アルミ、複層ガラス) 床：タイルカーペット 壁：大理石、インド砂岩、クロス貼 天井：石綿吸音板、クロス貼、アルミルーバー
工期	昭和59年3月～昭和60年8月	平成4年3月～平成5年11月

設備概要

区分	本館	ロダン館
電気設備	受変電設備 受電電圧6,600V 60Hz 変圧器1 300KVA、3 400KVAモールド型 発電設備 ディーゼル機関4サイクル6気筒、1,800rpm 出力300KVA 3 3W6,600V 蓄電池設備 キュービクル式直流電源装置、充電サイリスタ全自動整流器 弱电設備 舞台調光、舞台音響、ITV監視、入館者表示、映像資料(ビデオ)、電話、放送、電気時計、テレビ共聴 防災、防犯設備 警備センター集中監視複合盤(自火報、防排煙)、防犯非常錠制御盤、防災アンブ(180W)、ITV監視装置、地図式表示板	受変電設備 受電電圧6,600V 60Hz 1 280KVA、3 350KVA 最大電力800KW 発電設備 ディーゼル機関4サイクル6気筒、1,800rpm 出力200KVA 3 3W220V 蓄電池設備 屋外キュービクル式直流電源装置 弱电設備 ITV監視、入館表示、ハイビジョン、電話、放送、トイレ呼出表示、調光、テレビ共聴 防災、防犯設備 同左
空調設備	熱源機器 直焚吸収冷温水発生機(150USRT・40USRT)、温水焚吸収冷温水機(30USRT)、空気熱源回収型スクリュウ式ヒートポンプ冷凍機(150USRT)、プレート式熱交換器(396,300Kcal/h) 蓄熱槽 冷温水槽 550㎡・55㎡、ソーラー用 20㎡ ソーラーパネル 平板型672枚 空調和機 収蔵庫3系統、展示室2系統、県民ギャラリー1系統、その他4系統及びパッケージ型1台、ファンコイルユニット46台、他空冷ヒートポンプパッケージエアコン、ルームエアコン	熱源機器 直焚吸収冷温水発生機(80USRT)2基、蒸気ボイラー(250kg/h)2基、空冷チラーユニット(4.39USRT)プレート式熱交換器(86,000Kcal/h) 冷温水クッションタンク 5㎡ 冷水クッションタンク 1㎡ 空調和機 収蔵庫3系統、展示室4系統、全熱交換器(3台)

区 分	本 館	ロ ダ ン 館	
衛生設備	排煙機	ロビー系統他 3系統3台	
	給水設備	受水槽30m ³ (二槽式)、高架水槽12m ³ (二槽式)	
	排水設備	公共下水道に放流	
	消火設備	展示室、収蔵庫、ハロン消火設備その他屋内消火栓	
昇降機設備	身障者用	油圧式11人乗750kg	
	荷物用	油圧式3,000kg	
		排煙機	メイン展示室他2系統4台
		給水設備	空調用自動給水装置受水槽5m ³
		排水設備	公共下水道に放流
		消火設備	展示室、収蔵庫、ハロン消火設備その他屋外消火栓
		身障者用	油圧式23人乗1,500kg

建設工事費

	本 館	ロ ダ ン 館
建 築	3,802,838 千円	3,415,995 千円
外 構	397,162	268,509
プロムナード	173,300	
合 計	4,373,300	3,684,504

諸室概要

本館

実技室 (114m²)

絵画彫刻等実技を伴う学習の場となる。その利用は、通年毎週3～4日の自由工房と不定期に行う技法セミナーや実技講座、ワークショップ等である。

図書閲覧室 (約20席)

当館は図書資料の整備にも力を入れているが、これを一般の人々にも利用していただくよう設けられたものである。

学芸の書庫と隣接している。

閲覧室には、2台の端末が設置されており、パソコンを使った美術鑑賞ができるようになっている。

ビデオコーナー (15席)

2階に設けられており、開催している展覧会への導入部としての役割をビデオに行わせるというものである。企画展については展覧会ごとにビデオを作成し放映している。また会場構成が常設展を主体とする場合には、当館製作の郷土作家シリーズ (秋野不矩・北川民次・澤田政廣・芹沢銈介・曾宮一念・中村岳陵) や購入した美術シリーズの放映も行いたいと考えている。なお、ビデオの操作は一階にある学芸員室で行い、現在は自動でくり返し放映をしている。

レストラン (80席 198m²)

レストラン「エスタ」E S T Aは、日本平ホテル直営のレストランで、ダッチコーヒー用のジャンボサイホンが設置してある。営業時間は10:00～18:00 (金、土、日は20:00まで)。

ミュージアムショップ

展覧会図録、絵ハガキ、館蔵品目録等の美術館の刊行物、美術書等を販売する場所で、1階のエントラン

スホール内にある。静岡市内の書店3社による共同経営の形をとっている。

諸室の配置

機能性を最重点に考慮して、学芸関係諸室の配置を考えた。まず、学芸員室と図書室が近いこと、次に搬入、収蔵、展示活動に便利な場所に学芸員室が配置されていることなどである。当然、写真撮影室や燻蒸室も学芸員室を中心として配置され、機能性を重視している。

展示室 (7室 1,777m²)

展示室は2階にあり、連続した7つの部屋から構成され、一部を常設展、一部を企画展とし、企画展の規模によって、自由に部屋を間仕切りして使用している。

展示室は、すべて壁付固定ガラスケースが配されている。また、このケースのすべての前面に移動パネルを設置できるようになっている。これにより全室ガラスケース展示が可能であり、逆に全室パネル展示も可能となる。自由に展示構成が考えられ、部屋の雰囲気が一変する。

このガラスケースには、ケース上部に三本、下部に一本の無紫外線蛍光灯があり、壁ごとに調光可能となっている。

また、パネル展示の場合には、このパネルに均一な照明がなされるよう、ライティング・ダクトが天井に配置してある。あわせて、こちら壁ごとに調光できるようになっている。

県民ギャラリー (2室 490m²)

県民の創作活動の発表の場として、個展やグループ展に利用できる。上記展示室同様、可変照明設備、移動展示パネルが設けられている。

講堂 (262席 305㎡)

来館者のオリエンテーション、講演会、映画会、小音楽会等、多目的に利用できる。

スライド映写機2台、16mm映写機2台を常備し、調光、音響調整の設備がある。

講座室 (約30席 71㎡)

美術に関する講座を行う。常設展では、展示室ごとに各学芸員がテーマを持って各担当の展示をしているので、それに関連した内容の講座を行っている。企画展開催中は、担当学芸員が企画展に関する講座を通常行っている。

スライド映写設備、音響設備がある。

託児・授乳室 (12.5㎡)

乳幼児を同伴しているため、十分に美術鑑賞ができない人の利便を図り、より多くの人に芸術文化に親しむ機会を提供するよう、託児・授乳室を開設した。

託児室 毎週土、日曜、祝日

10時30分～16時30分まで

2時間を限度

授乳室 開館日全て

10時～17時30分まで

(夜間開館日は20時まで)

ロダン館

ロダンフロア (1,461㎡)

高さ20mの天井部にはトッライトを設け、十分な自然光を取り入れることにより室内でありながら、さながら広場のような印象を与えるよう工夫されている。また、高低差のあるスキップ・フロアは、あらゆる角度から彫刻の鑑賞が可能であり、その周囲には高齢者や車椅子利用者が自由に移動できるよう、スロープを巡らしてある。冬季には空調による暖房に加え、電気ヒーター及び温水による床暖房も行っている。

展示室1 (98㎡)、展示室2 (149㎡)

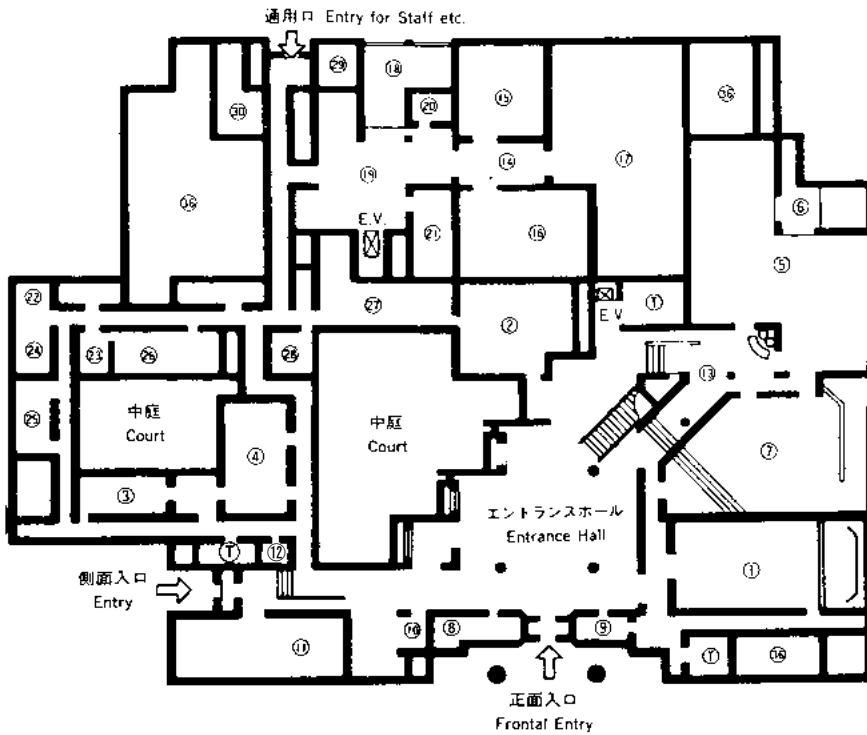
ロダンに関する様々な情報を提供する部屋として、1階エントランスホールの両側に設けられている。構造的には、ロダンフロアと異なり天井高は標準的で、暖房は空調のみである。展示室1には、地獄門の鑄造過程の写真パネルやブロンズの製造過程を示す模型及びロダン写真資料(CD-room)検索システムが設置されている。また、展示室2にはロダン以前の彫刻等が展示されている。

ブリッジ・ギャラリー (276㎡)

本館とロダン館を接続するための通路を兼ねたブリッジ状の展示室で、ロダン以降、現代までの彫刻13点が展示されている。

平面図
本館

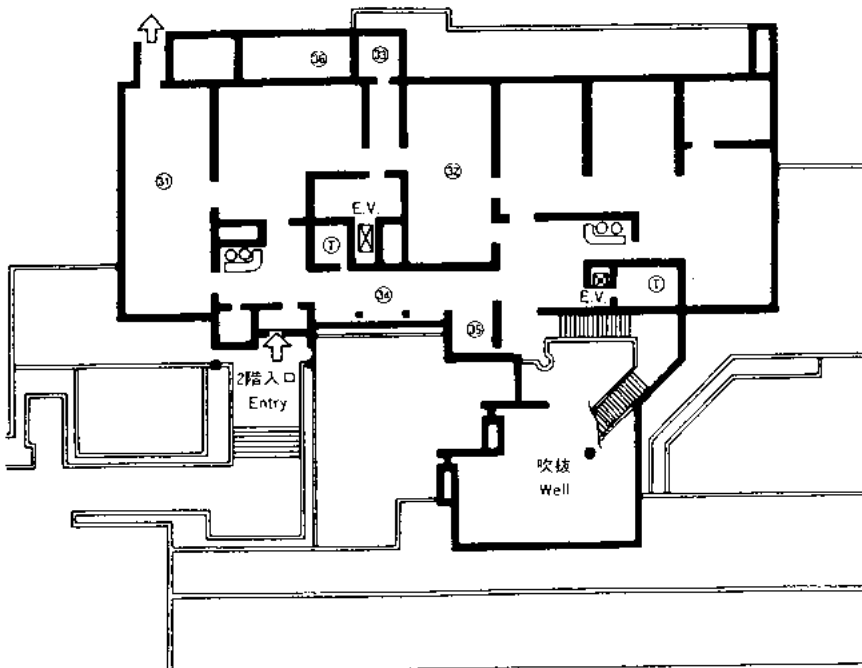
1階 First Floor



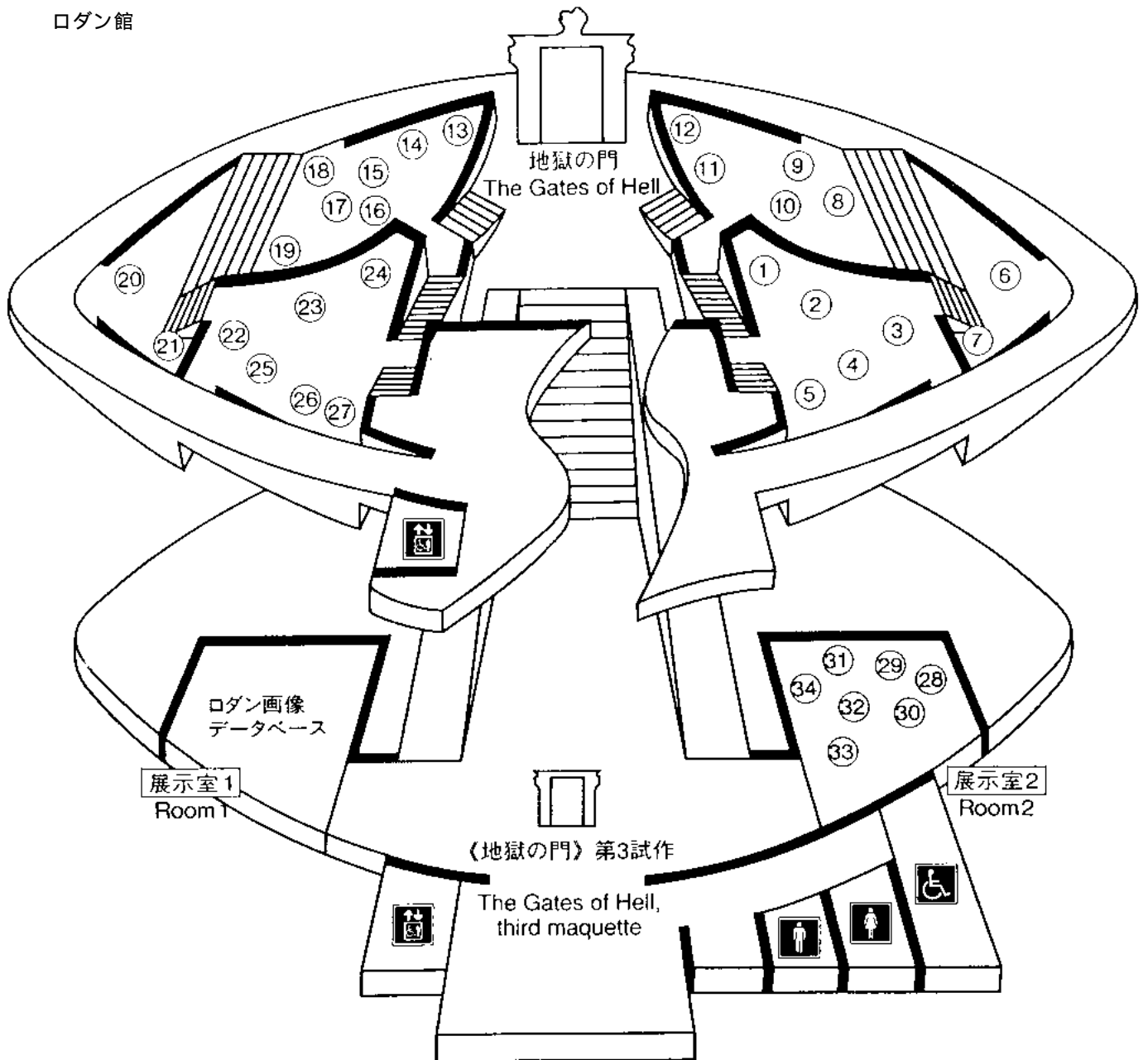
- ① 講堂 Auditorium
- ② 図書閲覧室 Library
- ③ 講座室 Lecture Room
- ④ 実技室 Atelier
- ⑤ 県民ギャラリー Gallery for Lending
- ⑥ ギャラリー搬入口 Delivery Room
- ⑦ 展示テラス Terrace for Sculpture
- ⑧ ボランティア室 Volunteer's Room
- ⑨ ロッカールーム Cloak Room
- ⑩ ミュージアムショップ Museum Shop

⑩ (次頁へ)

2階 Second Floor



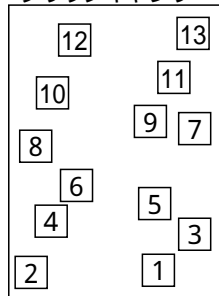
- ⑪ レストラン Restaurant
- ⑫ 託児・授乳室 Nursery
- ⑬ ギャラリー前ロビー Lobby
- ⑭ 収蔵庫前室 Storage Front
- ⑮ 収蔵庫1 Storage(1)
- ⑯ 収蔵庫2 Storage(2)
- ⑰ 収蔵庫3 Storage(3)
- ⑱ 搬入口 Delivery Room
- ⑲ 荷受室 Packing Room
- ⑳ 燻蒸室 Fumigation Room
- ㉑ 写真撮影室 Photo Studio
- ㉒ 館長室 Director's Room
- ㉓ 副館長室 Vice-Director's Room
- ㉔ 応接室 Reception Room
- ㉕ 会議室 Council Room
- ㉖ 事務室 General Affairs Section
- ㉗ 学芸員室 Curatorial Section
- ㉘ 修復室 Restoration Room
- ㉙ 警備員室 Guards Room
- ㉚ 中央監視室 Central Monitor Room
- ㉛ 常設展示室 Gallery for Permanent Collection
- ㉜ 企画展示室 Gallery for Loan Exhibition
- ㉝ ラウンジ Lounge
- ㉞ ロビー Lobby
- ㉟ ビデオコーナー Video Corner
- ㊱ 機械室 Machinery Room
- ㊲ ブリッジ・ギャラリー Bridge Gallery
- ㊳ トイレ W. C.
- E. V. エレベーター Elevator



ロダン, A

- ① 《カレの市民》ジャン・デール
- ② 《カレの市民》ジャン・ド・フィエンヌ
- ③ 《カレの市民》ピエール・ド・ヴィッサン
- ④ 《カレの市民》ジャック・ド・ヴィッサン
- ⑤ 《カレの市民》アンドリュウ・ダンドル
- ⑥ 《カレの市民》ユスターシュ・ド・サン=ピエール
- ⑦ 《カレの市民》第一試作
- ⑧ ホイッスラーのためのミュージズ
- ⑨ 裸のバルザック
- ⑩ バルザックの頭部
- ⑪ 永遠の休息の精
- ⑫ 《永遠の休息の精》のトルソ
- ⑬ 《影》のトルソ
- ⑭ パオロとフランチェスカ
- ⑮ フギット・アモール
- ⑯ 《影》の頭部
- ⑰ 壺をもつカリアティード
- ⑱ シベール
- ⑲ 女のケンタウロスのトルソと絶望する若者
女のケンタウロスと女のトルソ
女のケンタウロスとイリスのためのトルソ
- ⑳ 考える人

ブリッジギャラリー



- ㉑ バッカス祭
- ㉒ 《ラ・フランス》習作
- ㉓ バスティアン=ルパージュ
- ㉔ ヴィクトリア・アンド・アルバートと
呼ばれる女のトルソ
- ㉕ クロード・ロラン
- ㉖ ボードレールの頭部
- ㉗ 花子のマスク

展示室2

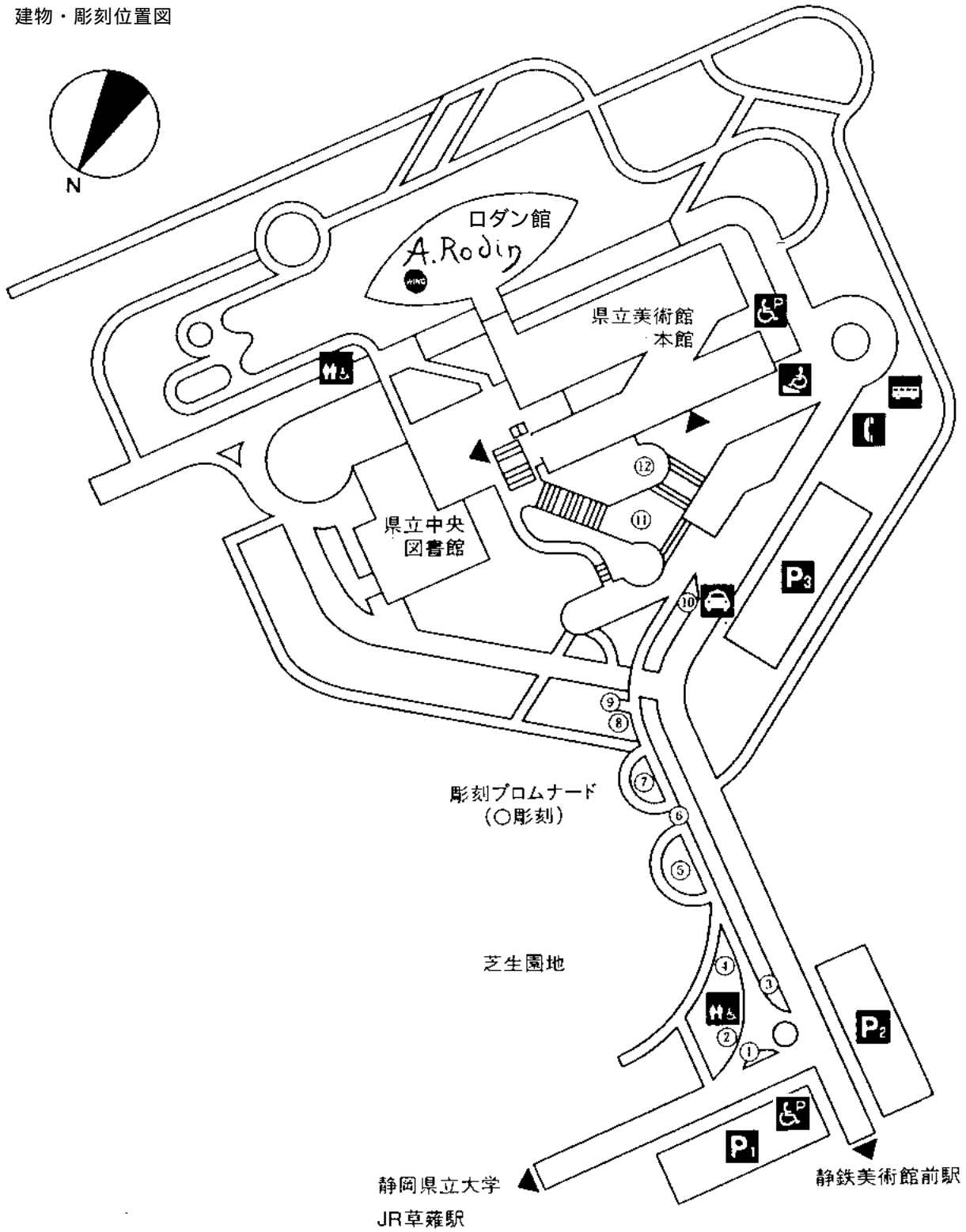
- ㉘ カルポー, J.B./ナポリの漁師の少年

- ㉙ カリエ=ベルーズ, A.E./
ニンフを連れ去るサテュロス
- ㉚ ロダン, A./バラの髪飾りの少女
- ㉛ カルポー, J.B./悲しみの聖母
- ㉜ ダルー, A.J./乳を与えるパリの女
- ㉝ フレミエ, E./蛇使い
- ㉞ バリー, A.L./ライオンと蛇

ブリッジ・ギャラリー

- ① ゴーギャン, P./オヴィリ
- ② バルラッハ, E./読書する僧たちⅢ
- ③ ムーア, H./横たわる人体
- ④ レームブルック, W./女のトルソ
- ⑤ ジャコメッティ, A./横たわる女
- ⑥ アーキベンコ, A./《化粧する女》習作
- ⑦ ブランクーシ, C./ボガニー嬢Ⅱ
- ⑧ リブシツ, J./母と子
- ⑨ ロッソ, M./病める男
- ⑩ プールデル, E.A./アボロンの首
- ⑪ プールデル, E.A./ロダンの肖像
- ⑫ マイヨール, A./《イル・ド・フランス》
のトルソ
- ⑬ クローデル, C./波

建物・彫刻位置図



- ① 杉村孝《しゃぐじんシリーズによる》
- ② J. ロザティ《アークII》
- ③ 舟越保武《杏》
- ④ 山口牧生《四角柱と丸い石》
- ⑤ 清水九兵衛《地簪》
- ⑥ 掛井五郎《蝶》
- ⑦ 大西清澄《涛の塔》
- ⑧ 鈴木久雄《風化儀式V-相関体》
- ⑨ 佐藤忠良《みどり》
- ⑩ 柳原義達《道標・鳩》
- ⑪ T. スミス《アマリリス》
- ⑫ G. リッキー《四つの旋回する斜線-菱形II》
- ⑬ 増田幸雄《風に吹かれて》
- ⑭ 内田晴之《異・空間》